

会議の開催結果について

- 1 会議名 令和5年度第1回上尾市障害福祉施策推進委員会
- 2 会議日時 令和5年7月28日（金）
午前・午後 2時00分から
- 3 開催場所 上尾市役所 全員協議会室
- 4 会議の議題 (1) 障害者手帳所持者数等の推移について
(2) 上尾市障害者支援計画の推進状況について
(3) 次期上尾市障害者支援計画について
(4) その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴者数 1人
- 8 問い合わせ先 健康福祉部 障害福祉課
(担当課) 048-775-5315 (直通)

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回上尾市障害福祉施策推進委員会																														
開催日時	令和5年7月28日（金）午後2時から午後3時15分																														
開催場所	上尾市役所 全員協議会室																														
議長(委員長・会長)氏名	相川章子（聖学院大学 心理福祉学部心理福祉学科）																														
出席者(委員)氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">高橋 好治</td> <td>社会福祉法人 あらぐさ福祉会</td> </tr> <tr> <td>強矢 清美</td> <td>社会福祉法人 上尾あゆみ会</td> </tr> <tr> <td>木全 美幸</td> <td>社会福祉法人 あげお福祉会</td> </tr> <tr> <td>山口 達子</td> <td>特定非営利活動法人ピュア・スマイル</td> </tr> <tr> <td>大野 奈美</td> <td>特定非営利活動法人 ポコ・ア・ポコ</td> </tr> <tr> <td>土井 孝次</td> <td>特定非営利活動法人上尾市身体障害者福祉会</td> </tr> <tr> <td>井上 禮子</td> <td>上尾市手をつなぐ親の会</td> </tr> <tr> <td>新久 光三</td> <td>上尾市聴覚障害者協会</td> </tr> <tr> <td>佐藤 順恒</td> <td>上尾市医師会</td> </tr> <tr> <td>佐藤 公保</td> <td>上尾商工会議所</td> </tr> <tr> <td>湯本 幸江</td> <td>上尾市民生委員・児童委員協議会連合会</td> </tr> <tr> <td>本城 文夫</td> <td>上尾市ボランティア連絡会</td> </tr> <tr> <td>大塚 信彦</td> <td>上尾・桶川・伊奈基幹相談支援センター</td> </tr> <tr> <td>加藤新一郎</td> <td>埼玉県鴻巣保健所</td> </tr> <tr> <td>高松 亨光</td> <td>上尾特別支援学校</td> </tr> </table>	高橋 好治	社会福祉法人 あらぐさ福祉会	強矢 清美	社会福祉法人 上尾あゆみ会	木全 美幸	社会福祉法人 あげお福祉会	山口 達子	特定非営利活動法人ピュア・スマイル	大野 奈美	特定非営利活動法人 ポコ・ア・ポコ	土井 孝次	特定非営利活動法人上尾市身体障害者福祉会	井上 禮子	上尾市手をつなぐ親の会	新久 光三	上尾市聴覚障害者協会	佐藤 順恒	上尾市医師会	佐藤 公保	上尾商工会議所	湯本 幸江	上尾市民生委員・児童委員協議会連合会	本城 文夫	上尾市ボランティア連絡会	大塚 信彦	上尾・桶川・伊奈基幹相談支援センター	加藤新一郎	埼玉県鴻巣保健所	高松 亨光	上尾特別支援学校
高橋 好治	社会福祉法人 あらぐさ福祉会																														
強矢 清美	社会福祉法人 上尾あゆみ会																														
木全 美幸	社会福祉法人 あげお福祉会																														
山口 達子	特定非営利活動法人ピュア・スマイル																														
大野 奈美	特定非営利活動法人 ポコ・ア・ポコ																														
土井 孝次	特定非営利活動法人上尾市身体障害者福祉会																														
井上 禮子	上尾市手をつなぐ親の会																														
新久 光三	上尾市聴覚障害者協会																														
佐藤 順恒	上尾市医師会																														
佐藤 公保	上尾商工会議所																														
湯本 幸江	上尾市民生委員・児童委員協議会連合会																														
本城 文夫	上尾市ボランティア連絡会																														
大塚 信彦	上尾・桶川・伊奈基幹相談支援センター																														
加藤新一郎	埼玉県鴻巣保健所																														
高松 亨光	上尾特別支援学校																														
欠席者(委員)氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">西方 俊次</td> <td>上尾市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>宮下 洋介</td> <td>大宮公共職業安定所</td> </tr> <tr> <td>久保田孝子</td> <td>障害者（児）の生活と権利を守る上尾市民の会</td> </tr> </table>	西方 俊次	上尾市社会福祉協議会	宮下 洋介	大宮公共職業安定所	久保田孝子	障害者（児）の生活と権利を守る上尾市民の会																								
西方 俊次	上尾市社会福祉協議会																														
宮下 洋介	大宮公共職業安定所																														
久保田孝子	障害者（児）の生活と権利を守る上尾市民の会																														
事務局(庶務担当)																															

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局市村	<p>それでは、定刻を過ぎましたので、これから会議を始めさせていただきますと思います。</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。委員会に先立ちまして、今年度より変更となった委員がいらっしゃいますので、上尾市障害福祉施策推進委員会委員委嘱式を行わせていただきます。</p> <p>上尾・桶川・伊奈基幹相談支援センターの児玉委員、上尾市社会福祉協議会の山辺委員、埼玉県鴻巣保健所の遠藤委員、大宮公共職業安定所の小川委員に変更がございました。新たに、上尾・桶川・伊奈基幹相談支援センターから大塚信彦様、上尾市社会福祉協議会から西方俊司様、埼玉県鴻巣保健所から加藤信一郎様、大宮公共職業安定所から宮下陽介様が委員となりました。本日ご出席いただいている委員に委嘱状をお渡ししたいと存じます。</p> <p>委嘱状は、長島健康福祉部長が席にお持ちしますので、名前を呼ばれましたら、その場でご起立お願いいたします。</p> <p>(委嘱状の交付)</p>
事務局市村 長島部長 事務局市村	<p>続きまして、長島健康福祉部長よりご挨拶を申し上げます。 (長島部長 あいさつ)</p> <p>ありがとうございました。 以上をもちまして、委嘱式を終わらせていただきます。</p>
事務局市村 相川委員長 事務局市村	<p>ただいまから令和 5 年度第 1 回上尾市障害福祉施策推進委員会を開催いたします。司会を務めさせていただきます、障害福祉課福祉課の市村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、本委員会委員長・相川様よりご挨拶いただければと存じます。相川様、よろしくお願いいたします。 (委員長 あいさつ)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、本日の資料について確認をさせていただきます。本日の委員会で使用します資料は、事前に送付いたしております。それでは一点ずつ確認させていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、会議次第。 2、障害者手帳、所持者数等の推移について。資料①となっています。 3、令和 4 年度障害者福祉サービス等利用実績について。資料②となっています。 4、第 2 期障害者計画の事業等進捗。資料③となっています。 5、第 6 期障害福祉計画及び第 2 期障害児福祉計画進捗状況。資料④です。 6、次期計画概要案。資料⑤です。 7、第 7 期市町村障害福祉計画等令和 6 年度から 8 年度作成に係る県の

	<p>考え方。資料⑥です。</p> <p>8、上尾市障害福祉施策推進委員会開催スケジュールについて。</p> <p>9、上尾市障害者福祉に関するアンケート調査前回比較版。</p> <p>10、上尾市障害福祉施策推進委員会委員名簿。</p> <p>以上10点の資料のうち、本日配布いたしました第7期市町村障害福祉計画等作成に係る県の考え方を除く9点につきましては事前送付いたしております。資料が不足している方、お手元がない方は挙手にてお知らせください。資料の方は大丈夫でしょうか。</p> <p>机上には、本日の資料のうち、修正があったものを置いております。後ほど事務局からご案内させていただきます。</p>
井上委員	<p>差し替え版と書いていないので、混ざらないようにしないといけない気がします。新しく置かれたものを紹介いただけますか。</p>
事務局高橋	<p>本日、事前にお配りしている会議次第ですが、資料が追加になった関係で会議次第をまず差し替えとして置かせていただいております。資料①、障害者手帳所持者等の推移、資料③、第2期障害者計画の事業等進捗、こちらも差し替えが生じております。申し訳ございません。</p>
事務局市村	<p>それでは、今年度初めての開催となりますので、委員の皆様から自己紹介を願います。</p> <p>(委員の自己紹介)</p> <p>新年度になり、事務局にも異動がございましたので、事務局の自己紹介をいたします。</p> <p>(事務局の自己紹介)</p> <p>続きまして、本日ご欠席の連絡をいただいております委員についてご報告を申し上げます。西方委員、宮下委員におかれましては、所用のため欠席とのご連絡をいただいております。久保田委員が今のところ遅れていらっしゃるという状況です。</p> <p>この結果、現在の出席者は16名。委員会につきましては、条例第7条第2項の規定に基づき、過半数の委員の出席がありますので、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、これより令和5年度第1回、上尾市障害福祉施策推進委員会を開会いたします。議事の進行につきましては、条例第7条の規定により、相川委員長をお願いいたします。</p> <p>なお、本日の議事については、議事録作成のため、録音させていただきますことをご了承ください。それでは、相川委員長、よろしくお願いいたします。</p>
相川委員長	<p>しばらくの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>改めまして、聖学院大学の相川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局市村 相川委員長	<p>まず最初に、傍聴はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>傍聴者は1人いらっしゃいます。</p> <p>審議に入る前に、委員の皆様にお諮りいたします。本日の会議につきましては、公開となっております。ただいま傍聴者が1人いらっしゃるということです。公開となっている審議事項について、傍聴を許可することによってよろしいでしょうか。</p> <p>(委員 承認)</p> <p>よろしいということで、それでは、傍聴の方にお入りいただければと思</p>

事務局 岸	<p>います。それでは、この後の審議は公開の会議とさせていただきます。</p> <p>議事の1番目、障害者手帳所持者数等の推移について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
相川委員長	<p><議事1 障害者手帳所持者数等の推移について>（「障害者手帳所持者数等の推移について（資料①）」について説明）</p> <p>差し替えました、資料①をご用意ください。訂正箇所を申し上げます。1枚目の身体障害者手帳交付状況の①、障害別の平成31年のデータ、2枚目、2、療育手帳交付状況の①等級別で、同じく平成31年のデータに誤りがありましたので差し替えさせていただきました。</p>
事務局 岸	<p>ありがとうございます。事務局からご説明がございましたが、ご説明に対して何かご不明な点やご意見、ご質問などございましたら、挙手いただければと思います。</p> <p>（質疑等なし）</p>
相川委員長	<p>議事の2番目に進めさせていただきます。上尾市障害者支援計画の進捗状況について、引き続き事務局、ご説明をお願いいたします。</p> <p><議事2 上尾市障害者支援計画の推進状況について>（「令和4年度障害福祉サービス等利用実績について（資料②）」、「第2期障害者計画の事業等進捗（資料③）」、「第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画進捗状況（資料④）」について説明）</p>
事務局 岸	<p>お手元に資料2をご用意ください。資料の訂正を申し上げます。2枚めくっていただき地域生活支援事業①必須事業17です。「手話奉仕員養成研修事業入門編」から研修を取り、「手話奉仕員養成事業入門編」に訂正をお願いします。その下も同様に「研修」を削除いただき、「手話奉仕員養成事業基礎編」に修正をお願いします。また、この1つ下、今度は、「奉仕員」を「通訳」に修正いただき、「研修」を外してください。</p> <p>続きまして、資料3です。差し替えた資料3でお願いいたします。最初に訂正箇所を申し上げます。8ページ⑧家庭児童相談員による相談支援。11ページ、⑭つくし学園分室運営事業。12ページ⑭小・中学校特別支援学級設置事業。同じページ⑮市立幼稚園における教育相談の実施。16ページ、⑥地域デビュー支援事業が盛り上げておりましたので、加えさせていただきました。6ページの⑤福祉機器の貸出しの一番右側、平成30年から令和4年度の取組状況に誤りがありましたので、訂正して差し替えさせていただきました。</p>
相川委員長	<p>どうもありがとうございます。今、事務局よりご説明がありました点について、ご不明な点とかご意見などございましたらよろしく申し上げます。</p> <p>この精神障害にも対応した地域包括ケアシステム、地域生活支援拠点等の整備について、説明済みではあるのかもしれませんが、取り組みの意義、どういう役割や機能を持って、今、市内で運営、運用されているのかという部分についてお聞かせいただけますか。</p>
事務局 栗原	<p>福祉施設の地域移行と地域包括システムの構築、地域生活支援拠点等の整備の大きく3つあります。これは、国が中心となって進めている施策の中でも目玉ではないですが、広く注目されるものとなります。その中で、福祉施設の入所者の地域移行は、やはり、かなり難しい問題があります。これは、井上委員が詳しいと思いますが、知的障害者の方の高齢化です。施設内で進んでおりました、実態としては、毎年それなりの人数の方が亡くなっている状況</p>

で、地域移行、地域生活に戻るといふより、死亡退所という形で終わっている場合が多い気がします。

その一方で、入所しなければならない、グループホームに適應できないような強度行動障害を持っている知的障害の方等がおります。そういう方が死亡者数と同じぐらい入所しておりますので、実績として、ほとんどゼロがキープされているという現状にあります。その面で、グループホームが急増していることから、地域生活のできる方々が施設入所せず、直接グループホームに入れるようになってきている現状はありますが、実態としては二極化しているというのが、地域の知的障害者の状況となります。

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムに関しましては、基幹相談支援センターを中心に、その中の自立支援協議会の部会として精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムということで、地域の様々な社会資源を使って、入院から地域生活を支えていこうという取り組みに対する議論の場になりますので、回数といたしましては、現行は毎月関係者等が集まり、研修を含めて、この包括ケアシステムの作りに向けた取り組みをしております。そういう形で、時間をかけながらこの地域で足りない社会資源をどう埋め合わせていくか等について、議論しながら進めています。今年度と昨年度に関しましては、研修機会を充実させるということで、精神障害者支援に関わる職員、地域の職員の研修というところで、スキルアップを目的とした取り組みを行っております。

最後に、地域生活支援拠点の整備になりますが、こちらに関しては空床確保事業といたしまして、事業団あげおの内に空床を確保させていただいて、夜間緊急事例に対して対応できるように整備をしていくというものになります。こちらについては、少しずつ進めている状況になります。

とてもよく分かりました。どうもありがとうございます。

委員の皆さま、ご質問等はいかがでしょう。木全委員お願いいたします。

相川委員長

木全委員

まず、どの表も実績があつて、令和5年度が見込量となっております。大元の計画の方も見込量立で立てている思っていたところ、20年ほど前の上尾市の障害者計画は、見込量ではなく、目標値を掲げてたような気がしています。今の実績に対してニーズを考えると、ここまで持っていきたいという目標値を載せていた記憶がありました。国の資料を見ていたところ、地方自治体が障害者計画、障害福祉計画などを立てるときは、地域のニーズを調査して、そのニーズに応じたサービスの種類ごとの必要量を検討し、計画に記載すると書いてありました。見込量も大事だと思いましたが、必要量、目標値といった数字で載せられないのかなと思いました。今回、新しく計画を立てる段階なのもあり、見込量ではない、何かがあるといいと思いました。

もう1点、資料②の1ページ目の裏面、居住系サービスの中のグループホームの部分で、令和5年度の見込量250に対して4年度の実績が268と見込量を超えています。実績が多いということで、上尾市内には、社会福祉法人ではない経営母体のグループホームがすごく増えていて、空きがある状況だと思うのですが、空きがある理由、ニーズはあると思うのですが、どうして空きがあるのか。また、この見込量を超えているところで、今後の見込、もっと増えていくと見込むか、増えないと見るか。そして、それ

事務局 岸	<p>をどう次の計画に数字を載せていくのか、考えをお聞きしたいと思います。</p> <p>1つ目のご質問、見込み量という言葉の定義、使い方ですが、今日お配りした資料で恐縮ですが、資料⑥41 ページの就労移行支援のところ見ていただきたいのですが、1つの例として、国の基本指針の考え方の一番下のところで、1人当たりの利用者数を勘案して利用者数及び量の見込を設定するという表現をしており、当時の計画策定時に、同じような形で、国の考え方を示していることから、その意味で見込量と表現をしたと思います。今回策定する計画では、検討させていただきたいと思います。</p> <p>グループホームの空きがあるという話ですが、基本的に通所施設などですと、市に意見書を求められて、市が意見を出すことができますが、グループホームについては、意見書の提出が求められてませんので、正直に言いまして、市の意向が届かない形になっています。言い方は悪いですが、県の認可さえ取れば好きに作れる状況ですので、需要と供給のバランスが崩れていると捉えております。また、グループホームの利用者は増えておりますので、今のトレンドから、今後も利用者は増えていくと考えていますが、ある程度利用が進めば横ばいになると思うのですが、どの時点で横ばいになるのかという部分を読めないことから、何とも言いようがないのが現状です。</p>
相川委員長	<p>ありがとうございます。木全委員よろしいですか。他の委員の方は、いかがでしょうか。大塚委員お願いいたします。</p>
大塚委員	<p>私、今回が初めての委員ということもあり、見当違いな質問かもしれませんが、質問と意見を兼ねてしまうのですが、資料2の後ろから2枚目の①必須事業の3番、障害者相談支援事業について、令和5年度の見込量が6となっています。令和4年度までは5箇所、今現在5箇所あります。6箇所目のお考えが令和5年度にあるのだと思ったことです。また、住居住宅入居等支援事業についても、今年度は実施するという点で、計画見込になっている点です。私どもの基幹相談支援センターとして協力できる場所があればと思っておりますし、見込があるのか、もしくは今、ゼロベースで検討しているところなのかお伺いしたい。</p>
相川委員長	<p>ありがとうございます。事務局から、このような見込みを立てた背景を説明いただければと思います。</p>
事務局栗原	<p>相談支援は地域的な面も含めて、6箇所ほどあったら良いことから見込ませていただきましたが、現行、相談支援事業を希望している、事業者が見つからないのところもあり、ここは見込量になってしまう可能性があります。</p> <p>住宅入居等支援事業、居住サポート事業と言われるもので、他市町も参考にさせていただいていますが、住居に関する相談自体が障害福祉ではニーズが限られており、福祉の窓口、総合相談窓口や生活保護の担当における住宅に関するニーズは多いという現状があります。また、指定相談支援事業者へ委託することもできるという条件がありますが、24時間体制を敷くというところで、委託を受けられる体力等の面で細部の調整が必要な事業となっている部分があります。もう1点、保証人に関して、横浜市や川崎市のように公的保証制度をとっていれば、展開の仕方が考えられますが、そちらともリンクして考えなければいけない問題もあるなど、難航する条件が揃っており、実施に踏み込めない背景があることから、お力をお</p>

<p>相川委員長</p> <p>事務局栗原</p>	<p>貸しいただきたいと思っています。 ありがとうございます。 私の方から、よろしいでしょうか。資料4に戻ってしまうのですが、いろいろな精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築に関して、詳細として今取り組んでいる内容、目標について説明いただきました。今期、支援者のスキルアップを目指した研修をしていることをうかがったが、この構築事業に関して当事者が主体になるという文脈もかなり大きくあると感じています。この枠組みの中に、当事者の方やご家族などが関係者の参加者に入っているのでしょうか。</p>
<p>相川委員長</p>	<p>この精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に関する話し合いは、自立支援協議会の部会で、毎月行っています。偶数月と奇数月で分けて研修を行っております。そのなかで、関係者のみの研修と残りの6か月につきましては、上尾の森診療所の安間先生を中心とした、当事者と家族を交えて、研究を含めた形の研修を10月に企画しています。当事者やご家族の意見を聞きながら、地域連携について研修を通して身につけていこうと取り組んでいます。このような形、二部形式で取り組んでいることから、地域として当事者、家族を含めた形で支援者の中に組み込み、会議形式での研修に持っていきべきかなと事務局も含めて考えております。</p>
<p>事務局 Next-i 山口</p>	<p>ありがとうございます。ぜひ、そのようにと思います。 他方、よろしいでしょうか。そうしましたら、議事の3番目に進みたいと思います。次期上尾市障害者支援計画について、事務局から説明をお願いします。 <議事3 次期上尾市障害者支援計画について>（「次期計画概要案（資料⑤）」、「第7期市町村障害福祉計画等（令和6年度～令和8年度）作成に係る県の考え方（資料⑥）」について説明）</p>
<p>相川委員長</p>	<p>ありがとうございます。今のご説明で、計画の案の最初の部分が示されたかと思います。何かご質問やご意見等ございますでしょうか。ある方は挙手いただければと思います。</p>
<p>木全委員</p>	<p>今、説明がありました資料⑤の2ページ目です。2の障害福祉計画の2行目に「具体的な数値目標や必要量の見込みなどを定めた計画です」とありますので、やはり市としての数値目標が載っていると良いと思いました。もう1点、同じ資料6ページの1上尾市障害者支援計画策定委員会はこの会議のことでしょうか。以上です。</p>
<p>事務局 Next-i 山口 相川委員長</p>	<p>会議の名称につきましては、修正いたします。 1点目は、ご検討いただけるといいと思います。他にご意見がございましたら、いただければと思います。よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局 岸</p>	<p>そうしましたら、議事の4番目に進みます。「その他」について、事務局から連絡事項ございましたらお願いします。 事務局から3点ほどございます。1点目、今後のスケジュールについて説明させていただきます。令和5年度開催スケジュール（案）をご覧ください。今年度の開催スケジュールとして、配りしております。次回、第2回の委員会におきましては、次期計画の素案をご提示させていただき、委員の皆様のご意見をいただきたいと思いますと考えております。第2回の委員会でいただいたご意見を取り入れまして、第3回委員会において次期計画の素案</p>

<p>相川委員長 事務局市村 山口 副委員長 事務局市村</p>	<p>をご提示させていただき、承認をいただきたいと考えております。承認いただきました次期計画の素案につきましては、年末か年明けの1月にパブリックコメントを実施いたしまして、第4回委員会におきまして、次期計画の最終案の承認をいただきたいと考えております。スケジュールにつきましては以上となります。</p> <p>続いて、前回の委員会ご意見を頂戴した、昨年度の行ったアンケート結果とその前のアンケート結果の比較のご要望がございましたので、調査比較をまとめさせていただきました。次期計画の参考にしていただければと思います。</p> <p>最後に、本日の委員会の出席に伴う謝礼支払につきましては、別途郵送で通知させていただきます。また、振込口座の変更のご希望がございましたら、事務局までご連絡をお願いします。以上でございます。</p> <p>他にないようでしたら、議事を終わらせていただきます。以上で、議長の任を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>最後に、本委員会副委員長山口様よりご挨拶いただければと存じます。</p> <p>(副委員長 あいさつ)</p> <p>以上で、令和5年度第1回の委員会を終了とさせていただきます。委員の皆様、お暑い中大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
--	--